

イタリア エジプト産の違法な生食用ブドウを押収

FreshPlaza 2023年7月6日

エジプト産の違法な生食用ブドウをイタリア当局が押収・破棄

グラパバラエティーズ (Grapa Varieties) 社(以下「グラパ社」)は、エジプトからイタリアへ違法に出荷された同社が権利を有する種なし白ブドウ品種アーリースイート (Early Sweet™) を発見し、差し止めさせることに成功し、「知的財産権保護の大きな勝利である」と称賛した。

グラパ社は、生食用ブドウの育種とライセンス供与を専門とする家族経営の企業であり、ライセンスはアーリースイート及びARRAのブランド名で与えている。

先月(2023年6月)、違法に栽培されたアーリースイート種のブドウ16トンがエジプトからラヴェンナ港に到着し、イタリアの税関職員によって押収された。ヴェローナのある会社宛てに発送され没収された荷は、違法なブドウを市場に密輸する際によく見られるように、別のブドウ品種であるサグラオーネ (Sugraone) に偽装されていた。侵害者らは何年にもわたり、継続的にグラパ社の創造性を侵害し、権利関係のあるブドウ品種に別の名称を付けるなど、さまざまな戦術を駆使してきた。

しかし、グラパ社は国際港の税関当局と緊密に協力し、違法に生産された品種を特定するためのDNA検査の実施を推進している。最近の検査は、ヨーロッパにおけるアーリースイート及びARRAの認定代理店であるAVI社が主導した。スフェレンス弁護士事務所のパートナーであり、グラパ社のイタリアにおける法的な代理人であるジャコモ・モレリ氏の支援を受けて、貨物からDNAサンプルが採取され、その結果、アーリースイートのDNAプロフィールと一致することが明らかとなった。

違法な輸送を行った輸入業者は、税関当局からイタリアの検察当局に通報された。検察は事件として受理し、現在は公判前の捜査段階にある。グラパ社は、欧州税関と協力して、生食用ブドウの違法な積み荷の没収と破棄に積極的に関与しており、今回貨物が破棄されたコンテナは近年で4つ目である。

同社はさらにエジプト当局に働きかけ、この侵害に関与した輸出業者、梱包施設及び農場の名称に関する情報を提供した。特筆すべきことは、エジプト当局としてもまた、このような事件に対処するために自ら多大な努力を払ってきたことである。昨年の裁判所の判決では、エジプトで9千本以上の違法なアーリースイートの樹の破棄が命じられた。

グラパ社のCEO兼会長であるラフィ・カルニエル氏は「弊社は、違法な苗木業者、生産者から梱包施設、輸出業者、輸入業者、スーパーマーケットに至るまで、このような侵害に関与したすべての関係者に責任を負わせることの重要性を強く訴える」と述べている。

同社は、2023年にこのような違法行為があってはならないと強調し、すべての関係者と小売業者に対し、こうした違法行為と戦うために種苗業者と力を合わせるよう要請している。

執筆者: クレイトン・スワート